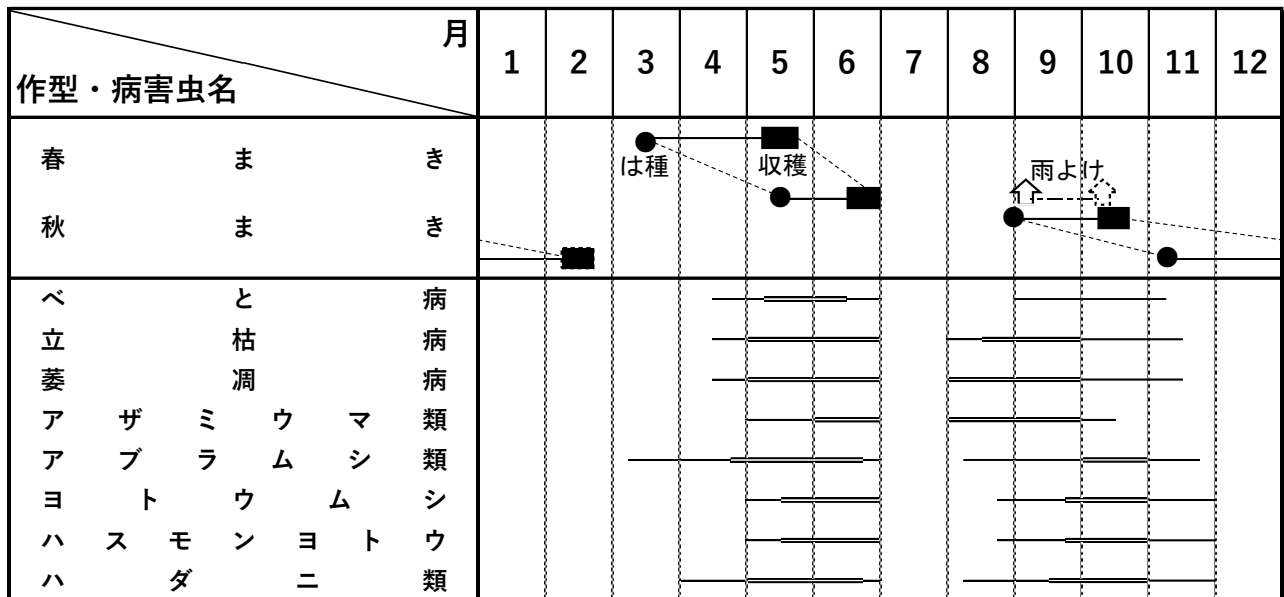


## ほうれんそう



## べと病

### 留意事項

- 1 春・秋に天候不順な年に発生が多い。
- 2 QoI剤<<11>>は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

### 防除方法

- 1 連作を避ける。
- 2 抵抗性品種を利用する。
- 3 排水を良好にする。
- 4 被害株は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。
- 5 は種前に、下記の薬剤を施用する。
  - ・ [ユニフォーム粒剤](#) <<11>> <4> 【9kg/10a 全面土壌混和 は種前/1回】
- 6 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
  - ・ [ランマンフロアブル](#) <21> 【2000倍 3日/3回】
  - ・ [ピシロックフロアブル](#) <U17> 【1000倍 前日/2回】
- 7 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [レーバスフロアブル](#) <40> 【2000倍 3日/2回】
  - ・ [アリエッティ水和剤](#) <P7> 【1500倍 前日/2回】

## 立枯病

### 留意事項

- 1 SDHI剤<<7>>は、薬剤耐性菌が出現しやすいので1作1回程度の使用に努める。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

## 防除方法

- 1 排水を良好にする。
- 2 高温時は、寒冷しゃ等で遮光する。
- 3 雨よけ栽培を行う。
- 4 本ぼを土壤消毒する。(XⅢ土壤消毒 参照)
  - ・ [バスアミド微粒剤](#)、[ガスタード微粒剤](#) 劇 <ー>
    - 【20～30kg/10a 所定量を均一に散布して土壤と混和する は種10日前/1回】
- 5 下記の薬剤を施用する。
  - ・ [リゾレックス水和剤](#) <14>
    - 【苗立枯病(リゾクトニア菌) 種子重量の0.5%粉衣 種子粉衣 は種時/1回】
    - または【苗立枯病(リゾクトニア菌) 500倍 土壤かん注(3L/m<sup>2</sup>) は種時/1回】
  - ・ [バシタック水和剤75](#) <<7>>
    - 【苗立枯病(リゾクトニア菌) 種子重量の0.4% 種子粉衣 は種前/1回】または
    - 【苗立枯病(リゾクトニア菌) 750～1500倍 土壤かん注(3L/m<sup>2</sup>) は種時～子葉展開時/1回】
  - ・ [タチガレン液剤](#) <32>
    - 【50～100倍 全面散布後土壤混和(300mL/m<sup>2</sup>) は種前/1回】または
    - 【500～1000倍 土壤かん注(3L/m<sup>2</sup>) は種時/1回】または
    - 【1500～3000倍 土壤かん注(9L/m<sup>2</sup>) は種時/1回】

## 萎凋病(いちょうびょう)

## 留意事項

- 1 地温15℃以上で発病する。

## 防除方法

- 1 発病地では数年間作付けを避ける。
- 2 チッソ質肥料の過用を避ける。
- 3 発病ほ場の土を未発病ほ場に持込まない。
- 4 発病の恐れのあるほ場では土壤消毒を行う。(XⅢ土壤消毒 参照)
  - ・ [バスアミド微粒剤](#)、[ガスタード微粒剤](#) 劇 <ー>
    - 【20～30kg/10a 所定量を均一に散布して土壤と混和する は種10日前/1回】
- 5 下記の薬剤を施用する。
  - ・ [ベンレート水和剤](#) <1> 【2000倍 かん注(3L/m<sup>2</sup>) 21日/2回】

## アザミウマ類

## 留意事項

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を

注1: 同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2: 異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

行う。

#### 防除方法

- 1 施設開口部に防虫ネット（目合い0.8mm）を張り、成虫の侵入を防ぐ。
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [スピノエース顆粒水和剤](#) < 5 > 【5000倍 前日/2回】
  - ・ [アドマイヤーフロアブル](#) 劇 < 4 A > 【4000倍 前日/2回】
  - ・ [リーフガード顆粒水和剤](#) 劇 < 1 4 > 【1500倍 7日/2回】

### アブラムシ類

#### 防除方法

- 1 施設開口部に防虫ネット（目合い0.8mm以下）を張り、成虫の侵入を防ぐ。
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) < 4 A > 【3000倍 3日/2回】
  - ・ [アディオン乳剤](#) < 3 A > 【3000倍 14日/2回】
  - ・ [ダントツ水溶剤](#) < 4 A > 【4000倍 前日/3回】
  - ・ [ウララDF](#) < 2 9 > 【4000倍 前日/2回】
  - ・ [リーフガード顆粒水和剤](#) 劇 < 1 4 > 【1500倍 7日/2回】

### シロオビノメイガ

#### 防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を施用する。
  - ・ [カスケード乳剤](#) < 1 5 > 【4000倍 3日/3回】
  - ・ [ディアナSC](#) < 5 > 【2500~5000倍 前日/2回】
  - ・ [スピノエース顆粒水和剤](#) < 5 > 【5000倍 前日/2回】
  - ・ [ベリマークSC](#) < 2 8 > 【4000倍 かん注（0.2L/m<sup>2</sup>） 7日/1回】

### ヨトウムシ

#### 防除方法

- 1 施設開口部に防虫ネット（目合い4mm以下）を張り、成虫の侵入を防ぐ。
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [アグロスリン乳剤](#) 劇 < 3 A > 【2000倍 7日/5回】
  - ・ [ノーモルト乳剤](#) < 1 5 > 【2000倍 7日/2回】
  - ・ **B T 剤** < 1 1 A > （IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照）

### ハスモンヨトウ

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合がありますので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合がありますので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

**留意事項**

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

**防除方法**

- 1 施設開口部に防虫ネット（目合い4mm以下）を張り、成虫の侵入を防ぐ。
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [アファーム乳剤](#) <6> 【2000倍 3日/2回】
  - ・ [カスケード乳剤](#) <15> 【4000倍 3日/3回】
  - ・ [ディアナSC](#) <5> 【2500～5000倍 前日/2回】
  - ・ [プレオフロアブル](#) <UN> 【1000倍 前日/2回】
  - ・ [ペリマークSC](#) <28> 【2000倍 かん注（0.1L/m<sup>2</sup>） 7日/1回】 または  
【4000倍 かん注（0.2L/m<sup>2</sup>） 7日/1回】
  - ・ **BT剤** <11A>（IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照）

**ハダニ類****留意事項**

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。

**防除方法**

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [ダニトロンフロアブル](#) <21A> 【2000倍 21日/1回】
  - ・ **気門封鎖剤** <->（IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照）

**ホウレンソウケナガコナダニ****留意事項**

- 1 コテツベイトを全面土壌散布する場合、利用は施設内に限る。

**防除方法**

- 1 使用する堆肥は、完熟のものを使用する。
- 2 下記の薬剤を施用する。
  - ・ [フォース粒剤 劇](#) <3A> 【9kg/10a 全面土壌混和 は種前/1回】
  - ・ [コテツベイト](#) <13>  
【3～6kg/10a 全面土壌散布 は種時～2葉期（収穫14日前）/1回】
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [アファーム乳剤](#) <6> 【2000倍 3日/2回】
  - ・ [カスケード乳剤](#) <15> 【4000倍 3日/3回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- 
- ・ [モベントフロアブル](#) < 2 3 > 【2000倍 7日／3回】
  - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 < 1 3 > 【4000～6000倍 2葉期まで（収穫14日前）／1回】
  - ・ [ネコナカットフロアブル](#) < 1 0 B > 【ケナガコナダ二類 1000倍 3日／2回】

---

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合がありますので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合がありますので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。